

小松市重点目標

未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

授業の質的改革 →資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

- ①児童生徒が 主体的・対話的に学習したくなる授業
- ②児童生徒が 自己の思考を深め、自己表現したくなる授業（思考力・記述力・発表力）
- ③児童生徒が 自己の学習をふりかえり、学びを実感できる授業

組織的な体制・環境づくり →児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成

- ④教職員が 目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち、課題の解決に取り組む
- ⑤教職員が 授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む
- ⑥教職員が 児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

令和4年度 学校評価重点計画

小松市立日末小学校
学校長 三部 秀美

目指す児童生徒の姿

- ・主体的に学び、思考過程を伝え合い、学びを深めることができる子
- ・仲間と関わり合いながら、互いのよさを認め合い高め合える子
- ・自分の健康や命を大切に、何事にも根気よくチャレンジする子

(1) 学校の課題

集団作りの基盤の下、お互いを認め合う態度が身につき話し合い活動もできるようになった。その反面、自分の考えを伝え合い高め合っていく態度が弱い傾向が見られる。教職員が共通認識をもって、児童の主体性を育み、お互いが高め合えるような集団づくり、授業づくりに取り組むことが課題である。

(2) 具体的な方策と検証

- ・集団づくりを基盤として、学校研究を中心とした学校運営を行う。
- ・単元デザイン・授業デザインを意識して、教師のコーディネート力を高める。
- ・考えを視覚化し、学び合う学習につなげ、個の成長が自覚できるようにする。
- ・集団づくりの方策を継続し、振り返り活動を通して自覚を促し、自主性を育てる。
- ・発達段階に応じて目指す集団の姿を設定し、児童と共有しながら、縦割り活動も活用して集団作りに取り組む。
- ・SDGs や GIGA スクール構想の取組を通して、指導力の向上を図る。
- ・「学校力向上ロードマップ」を活用し、計画的な学校運営の実践・検証を行う。